

国語科単元構想シート

第4学年 組()名 授業者

単元名 「小さな新聞記者誕生！B小学校のみりよく伝える新聞を作ろう！」 全12時間

教材名 「新聞を作ろう」(光村図書4年上)

単元目標 (単元で育成を目指す資質・能力) ◎指導の重点	○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能](2)イ
	◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ア ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)イ
	○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。 ((2)イ)	①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ②「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	進んで、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、見通しをもってB小学校の魅力を伝える新聞を作ろうとしている。

単元で取り上げる言語活動
 B小学校の魅力を伝えるために、情報を収集・整理して記事を書き、読者が読みたくなる見出しを付けた新聞を作る。

単元の流れ	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て	
★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間			(個別最適な学び【個】・協働的な学び【協】)	
①学習のゴールを共有し、学習の見通しをもつ。 ②新聞作成会議をして、グループごとにテーマや新聞作成計画を立てる。 ③新聞の作り方とアンケートの取り方を学ぶ。 ④⑤⑥記事を書くための情報を集める。 ⑦⑧⑨割り付けを考え、相手にわかりやすく伝える記事を書く。 ⑩読みたくなる記事の見出しを考える。★ ⑪記事を読み直し、よりよい文章に仕上げる。★ ⑫新聞を読んで、よいところを伝え合い、学習を振り返る。	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 実際の新聞から、見出しや記事、図、絵、写真など、読み手にわかりやすく伝えるための工夫を見つけている。	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	
		紙面に載せるための情報を考え、インタビューやアンケート調査などを用いて情報収集している。		
		情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】 収集した情報を、伝えたいことに合わせて取捨選択し、記事に用いる情報を選んでいる。		自分と友達の考えを比較し、用いる情報を決めて記事にしている。
		自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】 記事の内容を基にして、読者が読みたくなる記事の見出しを考えている。		グループ交流を通して、見出しに用いる言葉を見直し、よりよいものになっている。
		・「学校の魅力を伝える新聞」にすることで、児童が身近なテーマから記事の内容を考えられるようにする。【個】 ・廊下に新聞コーナーを設け、様々な種類の新聞を置くことで、児童が新聞に興味をもてるようにする。【個】 ・振り返りの際は、学習課題をどの程度、達成できたかを児童が自覚できるようにし、次の学習につなげられるようにする。【個】 ・グループで新聞作成を行うことで、記事や見出しについてグループの友達と協力して推敲できるようにする。【協】 ・ICTを活用し、児童が試行錯誤したり、作業内容をグループで共有したりできるようにする。【個】【協】		